

朗読と

―戦後80年企画―

アニメーション

平和祈念コンサート



長崎原爆松原女にいた話
あの人時の少女の実話

松原の救護列車を伝える会

Yoshiko & That Girl

●第1部「よしちゃんとあの日の女の子」

出演：松原の救護列車を伝える会、増田勇人、他

●第2部「平和祈念コンサート」

出演：増田勇人 (カウンターテナー)、安部まりあ (ピアノ)

2025

8

9

土

19:00開場

大村市立松原小学校

グラウンド 雨天時体育館

19:30～21:00

入場無料

2025

8

10

日

14:00開場

市民交流プラザ

ホール

14:30～16:00

入場無料 先着150名



ながさきピース文化祭2025

主催：松原の救護列車を伝える会 後援：大村市教育委員会 助成：大村市なんでんかんでんチャレンジ40助成金

戦後80年企画

平和祈念イベント公演・新作の発表によせて

戦後80年を迎える今年、松原の救護列車を伝える会は結成10周年を迎えました。これまでコロナ禍など様々な局面に遭遇しましたが、一度も立ち止まることなく、活動を続ける事ができたのは、地域の方々や、松原小学校および市内外の小中学校の先生方、そして私共の趣旨にご賛同下さった方々のお支えがあったからこそと、心より感謝申し上げます。さてこの記念の年に、私共は新作の朗読劇を発表する事に致しました。これは松原にお住いの久保芳子さんの記憶と証言を紡ぎ作った物語です。証言を基に松原の歴史を調べていくなかで、特攻兵が民家に下宿していた記録は、全国的にも大変珍しく、貴重な証言を得ることができました。また、当時7歳だった久保さんが、ご両親や特攻兵の少年達に大切に、健やかに育った様子や、久保さんのご両親の特攻兵へも向けられた親心は、戦時中も現在も、決して変わることがない命の尊さを伝えます。そして、戦争と原爆は、あまりにも残酷で、悲しいということを「あの日の女の子=忘れられないきみ」が伝えます。今も世界のどこかで起こっている戦争を思いながら、80年前の松原にタイムスリップし、平和とは何か？大切な事は何か？を、ご家族や友人同士で、考えるきっかけにして頂けたら幸いです。

また、第2部では、大村市が生んだ二人の素晴らしい音楽家に、平和祈念コンサートを上演して頂きます。

松原の救護列車を伝える会

上演内容

第1部 朗読とアニメーション

READING AND ANIMATION

「よしちゃんとあの日の女の子」

昭和20年終戦間近の松原には数十人の特攻兵が下宿していた。彼らは人知れずひっそりと「その時」を待っていた。下宿先の家族とのささやかな日常を、当時7歳だったよしちゃんの目を通して鮮やかに伝えます。一方、8月9日長崎に原爆が落とされた数日後、松原にきた女の子のお話。同じ年頃だった二人の少女は、同じ時を松原で過ごした。戦争と原爆が落とした光と影を、そして二人の少女の祈りを、朗読とアニメを通して伝えます。



久保芳子さんからの聞き取りの様子
2015年（久保さん宅）



アニメで伝える救護列車の記憶

第2部 平和祈念コンサート

PEACE MEMORIAL CONCERT

オペラ楽曲から誰もが親しむ楽曲を、この度特別にご披露頂きます。素敵なメロディーと歌は、距離や時空を超え、世界へ過去と未来へ、平和の祈りを届けます。子どもと一緒に「折鶴」「クスノキ」の合唱もありますので、ご家族でご参加下さい。

増田 勇人 大村市出身
沖縄県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学院を経て、ドイツ国立カールスルーエ音楽大学声楽専攻修士課程を卒業。その後ドイツ国立デュッセルドルフ音楽大学バロック声楽専攻修士課程を満場一致の最優秀賞で終了。第67回全日本学生音楽コンクール北九州大会大学の部第一位、及び全国大会入選等、数々のコンクールにて入選、受賞を果たす。国内外のオペラや音楽祭に出演し、活動は日本に留まらず、国際的な活躍を続けている。

安部 まりあ 大村市出身
上野学園大学音楽家コースに入学。ウィーン国立音楽大学に留学し修了、ベルリン芸術大学卒業。2010年第8回東京音楽コンクールピアノ部門第1位および総賞、2008年第54回マリア・カナルス国際コンクール審査員、満場一致のメダル受賞、2009年第78回日本音楽コンクール入選。ウィーン楽友協会、在ドイツ日本国大使館はじめ国内外で演奏活動、後進の指導に当たりながら、大村市内でピアノ教室を主宰。



増田 勇人
カウンターテノール



安部 まりあ
ピアノ

二回公演 開催日時

日付：2025年8月9日(土)

時間：19:30～開場19:00

場所：大村市立松原小学校

グラウンド（雨天時体育館）
大村市松原本町5-1

駐車場：北部運動広場駐車場



日付：2025年8月10日(日)

時間：14:30～開場14:00

場所：市民交流プラザ

ホール（プラザおおむら）
大村市326-1

駐車場：近隣の市営駐車場

松原の救護列車を伝える会 〈活動内容〉



松原の救護列車を伝える会は、2015年に当時の松原小学校の保護者が集まり発足し、今年11年目を迎えました。戦時中松原小学校で衛生兵として勤務していた福地勝美さんが、手記で遺されていた「原爆が投下されたのちけが人を運んだ救護列車」と「小学校に設置された救護所」の話を物語にし、大村市内外の小、中学校、高等学校にて朗読劇を上演しています。

〈活動理念〉

じいちゃん、ばあちゃんは話して、とおちゃん、かあちゃん伝えて、そして僕たち、私たちに聞かせて

〈活動実績〉

- ・聞き取り取材と会報の発行
- ・朗読劇の作成と上演
- ・戦後70年被爆者追悼セレモニー
- ・松原小学校モニュメントの制作
- ・映画「この世界の片隅に」上映会
- ・朗読劇のDVD作成と配布、YouTube配信
- ・アニメーション「忘れられないきみへ」制作

☎ 会長：090-3605-9717、事務局：090-1162-4863

✉ matsubara.kyugotrain@gmail.com

松原の救護列車を伝える会